

令和3年度(2021年度)ネットいじめ等早期対応推進事業の実績報告について

学校安全・安心推進課

1 事業の概要

(1) 目的:

進展するネット社会における生徒指導上の諸問題、とりわけSNS上でのいじめ等への対策として、「通報窓口サイト」を全県立学校に導入し、ネットトラブルに対する学校の取組を支援する。

(2) 対象校及び対象者数: 全県立高校、全県立中学校及び特別支援学校の約3万人を対象

(3) 導入システム: 「いじめ匿名報告サイト(スクールサイン)」(アディッシュ株式会社)

(4) システムの仕組み:

生徒が、いじめ等に気づき、匿名で投稿した通報内容を、委託事業者が1日数回チェックする。投稿内容は翌日までに県教育委員会へ連絡され、緊急対応が必要な投稿については、別途連絡が入り、関係機関と連携する。

いじめ問題への早期対応及び匿名でのいじめに関する情報提供等を目的として運用を開始した本システムであるが、生徒への周知が進み、学校生活に対する悩みや不満、教職員に対する要望等、生徒がSOSを発するツールとしての活用が進んでいる。

2 事業の結果

(1) 投稿件数

	投稿総数	内 訳 1				
		いじめ	悩み相談	不満	その他	いたずら
1学期分: 4月から8月までの計	353 (+154)	18 (+9)	8 (+1)	117 (+77)	207 (+66)	3 (+1)
2学期分: 9月から12月までの計	100 (+17)	7 (+2)	0 ()	38 (+13)	55 (+8)	0 ()
3学期分: 1月から3月までの計	53 (+14)	2 ()	1 (+1)	22 (+12)	26 (±0)	2 (+2)
合計	506 (+185)	27 (+10)	9 ()	177 (+102)	288 (+74)	5 (+2)

1 投稿内訳の件数は、学校が精査した結果の数値

2 ()は前年度比の増減《テスト送信は含まない》

(2) 過去3年間の推移

		投稿総数	内 訳				
			いじめ	悩み相談	不満	その他	いたずら
年間合計	R1	430	36	22	137	226	9
	R2	321	17	12	75	214	3
	R3	506	27	9	177	288	5

(3) 投稿状況

<投稿内容の一部>

- ・色んな学年や他の科の人達が使う教室の机に悪口や不快になるような言葉が書かれている。
- ・グループLINEで、人のテストの点数をバカにするようにバラしていた。
- ・クラスのほとんどの人に聞こえる声で悪口を言われていた。
- ・前日に学校を休み学校に登校したところ、自分のバッグの中にトイレトペーパーの芯のゴミが詰められていた。
- ・私の名前を勝手に使ってインスタグラムのアカウントを作ったりして気持ち悪いです。

ア いじめの27件のうち、スクールサインへの投稿によって学校が知ったいじめは15件。そのうち15件すべてにおいて、いじめ行為が解消している。

イ 全投稿506件のうち、2件の投稿については緊急対応が必要と判断した。学校及び県警察等関係機関との連携により、生徒の安全を確保するとともに、今後の対応について検討し、周知した。

ウ 投稿総数が昨年度比で185件増加した。その増加分のうち102件が「不満」の件数であり、教師の指導方法や部活動の練習等についての不満が含まれている。これらの投稿についても、生徒たちからの貴重なSOSと捉え、学校に情報提供が行われたことで、教育相談等適切な対応に繋げることができている。

エ 令和4年度より、部活動に関する内容（部員間のトラブル、指導者への不満等）は、別途集計を行い、生徒からのSOSを早期に発見するなど、初期対応の充実を図っている。

3 その他、参考となる事項

- ・令和4年度は4月に本事業の実施についてすべての県立学校の生徒及び保護者に周知（令和4年4月11日付 教安第42号）
- ・教職員のわいせつ行為をはじめとする不祥事根絶に向けた取組として、スクールサインを相談窓口の一つとして周知（令和3年3月12日付 教人第1656号 教安第838号）
- ・悩み相談のため、別途、県教育委員会に設置している電話相談の窓口についても、すべての公立小中学校及び特別支援学校に周知（令和4年4月19日付 教安第68号）